

平成三十一年度 入学試験（一般 第二回）問題（国語）

一次の文章を読んで、後の問【1】～【5】に答えなさい。

私の誕生日は七月二十一日、暑いさかりで、大変だったと亡くなった母は言っていた。いまどちがつて婚家で産婆によるお産である。朝から産気づいて苦しんでいるのに、父はその日が月給日だというので勤め先の学校に出掛けてしまつたとも、母はすこし恨みがましく私に言ったものだ。当時のことだから立合つてもらおうなどと思つたのではないだろう。初めてのお産が心細く、家に居てくれているだけで安心だつたにちがいない。

二十一日は祖母の信心していたお大師さまの日でもあつた。また五黄の亥で、強いのだそうである。私じしんは気の弱い自分を知つてゐるから、とうていゴオウなどというおそろしいひびきの語に該当する器ではないと可笑しく思つてきたが、ただ、強いといえば夏子の特権で暑さにだけはつよい。それからまた、これまで生きていた六十年の自分の運勢は、あるいは強かったと言えるかもしれないと思つたりもする。一個、病弱という大きな難点を除いて。——私は四十を過ぎるころからいのちにかかるほどの病気に取り付かれ、それとともに暑さにも弱くなつた。

二十年まえ、四十三歳のとき、腸に悪い病気が見付かって手術をうけた。六月八日のことで、□(a) 諦めたいのちはこの手術によつて取り戻された。術後の病床にあつて、私は六月八日という日を新しい第二の誕生日と思ひ定め、以来、この日がめぐつてくるたびに妻をつれてどこかの神社やお寺にお詣りするようになつた。再発の不安を抱きながらの毎日であつたから、めぐつてくる第二の誕生日は延命の一年への感謝であり、また新たな一年へのおそれに満ちた祈念でもあつた。

こうして二十年ちかい時が流れた。十年を過ぎるころから再発のおそれも薄らぎ、年齢も五十代という充実の季を迎えて、私は自分の力量に見合うかぎりの仕事をこの期間において果し得たという満足感がある。あのとき死んでいても文句の言えない体だった。それが幸いに生かされて、□(ア) の時期を待つことが出来たのである。のみならず、病氣自体もその後の私の生き方考え方を深めてくれるところがあつた。生きることがこんなにも仕合せであつた二十年ちかくの歳月を、私は掌に受けるようにして頂いてきたと言つていい。

一昨年の夏になつて、異変がおとずれた。これだけ間隔があれば再発とはいえないであろうが、私は場所はちがうが同じ病氣で入院し、十一時間におよぶ大きな手術をうけ、三か月の入院ののちようやく回復期の安定を得て自宅にもどつた。定命といふことがしきりに思われ、このたびばかりは、覚悟のほどが肝要と思い知るところがあつた。余命ははかりがたいが、その限られたいのちを静かに生きて日々を楽しみ、死の恐怖に対しても、とうてい解決は不可能としても、病苦よりえた□(*) らしきものに頼つてあわてずにいたい。そう思うようになつた。六十歳を出たばかりといえまだ働き盛りではあるけれども、四十そこそこで死んでいたことを思えば、幸いは身に□(b) のである。

二度目の手術の日、一昨年の八月十七日を私が第三の誕生日と定めたのは言うまでもない。第一の誕生日七月二十一日、第二の誕生日六月八日、第三の誕生日八月十七日——第三の日は立秋以後だが、晚夏として、三つとも誕生日が夏にかぎられているはどうしてだろう。夏は私にとって生死にかかる□(イ) の季節なのだろうか。第三のその日、術後二年目の誕生日が来ようとしている。

(上田三四一『三つの誕生日』)

【1】 空欄①に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 1 2】

- 1 ① 充実 ② 収穫 ③ 最後 ④ 追加 ⑤ 復活
2 ① 境目 ② 転機 ③ 決定 ④ 転換 ⑤ 節目

【2】 傍線部「諦めた」の前に置く(a)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- 3 ① なくなく ② やむなく ③ ようやく ④ いったん ⑤ なんとか

【3】 傍線部「身に」に続く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- 4 ① あまる ② こまる ③ しみる ④ すねる ⑤ つまる

【4】 傍線部「身に」に続く(b)として正しいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 3】

- 5 ① 満足感 ② 優越感 ③ 死生觀
④ 人生觀 ⑤ 達成感

【5】 空欄*に該当する語を、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 5】

- 6 ① これからも、術後三年目、四年目と、この日を迎えるようにと、心から願う思い。
② 三つの誕生日のいずれも夏であることが、何とも不思議なめぐりあわせだな、という思い。
③ ここまで生きられたのは、暑いさかりに頑張って生んでくれた母のおかげ、という思い。
④ 今年もこの日を、何とか迎えられそうだということに、心から感謝する思い。
⑤ 二度諦めかけた命がここまで続いたことで、今後も一層体に気をつけねば、という思い。

【6】 筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いとしてふさわしいものを、①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問 6】

- 7 ① 俵子 ② 標子 ③ 評子 ④ 兵子 ⑤ 拍子

【7】 すてきな春休みを、お過ごしください。【解答欄は問 7】

- 8 ① 素適 ② 素嫡 ③ 素滴 ④ 素敵 ⑤ 素摘

【8】 彼の言うことが、どうにも、ふに落ちない。【解答欄は問 8】

- 9 ① 脇 ② 步 ③ 負 ④ 符 ⑥ 富

【9】 まず、悪い物質を、体からはいじよする必要がある。【解答欄は問 9】

- 10 ① 廃除 ② 排除 ③ 排除 ④ 廃除 ⑤ 併除

【10】 あなたの故郷の、夏の夜のふうぶつしは、何ですか。【解答欄は問 10】

- 11 ① 風物志 ② 風物詩 ③ 風物誌 ④ 風物史 ⑤ 風物紙

【11】 あなたの故郷の、夏の夜のふうぶつしは、何ですか。【解答欄は問 11】

三次の問【11】～【15】の言葉と、対または反対の意味で用いられる語として、最もふさわしいものを、

それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【11】 主体【解答欄は問【12】】

【12】 ①従体

②副体

③客体

④受体

⑤側体

【12】 末梢【解答欄は問【13】】

【13】 ①中枢

②中核

③中軸

④中心

⑤中央

【12】 往信【解答欄は問【13】】

【13】 ①帰信

②戻信

③復信

④返信

⑤還信

【13】 往信【解答欄は問【14】】

【14】 ①広長

②延長

③拡長

④展長

⑤伸長

【14】 委縮【解答欄は問【15】】

【15】 ①広長

②加重

③荷重

④過重

⑤貨重

【15】 軽減【解答欄は問【16】】

【16】 ①可重

②加重

③荷重

④過重

⑤貨重

四 次の文章を読んで、後の問【16】～【20】に答えなさい。

先日、友人たちと集まつたとき、人生で初めて泣いた物語は何だったかという話になった。一人が「私は『泣いた赤鬼』だなあ」と言うと「あっ、それ私も泣いた!」「私も」と声が上がった。村の人と仲良くしたいのに怖がられて近寄つてももらえない赤鬼のために、友達の青鬼が悪役となつて一芝居【7】話である。

青鬼はわざと村で大暴れする。それをやつつけた赤鬼は村人と仲良くなることができたが、【1】青鬼の姿が見えなくなる。赤鬼が家を訪ねていくと「自分と一緒にいるところを見られたら、君まで悪い鬼と思われるので、遠いところへ行つて暮らします」という書き置きがあり、青鬼は一度と村に戻らなかつた。

私もこの話には感動した覚えがある。自己犠牲なんていう言葉は知らなかつたけれど、友達の幸せのために、ひとりぼっちで暮らすことを選んだ青鬼に胸を打たれた。

いま考えると、この話のすごいところは、青鬼がお芝居をして赤鬼と村人を結びつけるだけでなく、将来のことを見通して身を【2】ことだろう。何もそこまでしなくとも、とも思うが、念には念を入れて先手【3】を打つ青鬼に、心配性でシンチヨウな日本人らしさがあらわれている気がする。

集まつた友人の中で『泣いた赤鬼』に感動したと言つたのはみな女性だった。では男性陣はどうなのか。

その場にいた男性二人が共通して「あれには泣いた」と言つたのは『鶴の恩返し』である。これも相手のため自分を犠牲にする話で、鶴の化身【4】であるつうが、夫の与ひょうのために自分の羽を抜いて機を織る。

与ひょうは傷ついた鶴を助ける優しい青年だが、かなり情けないところがあり、仲間にそそのかされて、お金になる織物をつうにもつと織らせようとする。そんなダメ男に尽くすつうは、男の子の永遠の理想なのかもしれない。そういうばなんとなく母親的な【5】もある。

両方の話に共通しているのは、人間と人間でないものがともに暮らしきコミュニケーションできる世界であることだ。村に鬼が住んでいたり、鶴が人間のお嫁さんになつたりしても、当時は別に変だと思わず、物語に入り込んでいた。

大人になってから、鬼は人種や文化を異にする存在のヒューリティという説を聞いたが、子供のころはあくまでも鬼

は鬼として読んでいた。その上で感情イニュウしていったわけで、人間も鬼も動物も一緒にになつたような世界を生きていたのだろう。

私がいちばん泣いた物語は、小二のときに読んだ『ごんぎつね』である。

親のいないきつねのgonsは、ある日、兵十という青年が川で捕ったウナギを逃がすいたずらをする。しばらくして兵十の母親が亡くなり、gonsは、あのときのウナギは兵十が病気の母親に食べさせようとしたものだったことを知る。反省し、毎日こつそり兵十の家に栗や松茸を届けるが、ある日、またいたずらをしにきたと誤解した兵十に火縄銃で撃たれてしまう。

最後に兵十が「ごん、お前だつたのか。いつも栗をくれたのは」と言い、gonsがぐつたりと目をつぶつたままうなづく場面では大泣きした。gonsが兵十にいたずらをしたのは、ひとりぼっちで寂しくて、兵十と仲良くしたかったからだと**に理解していたと思う。

私が育つたのは札幌市の郊外である。背後には山林が広がっていて、家のそばまでキタキツネが出てくることがあった。夏、毛がまだになつたみすぼらしい様子で道路端にちょこんと座っている姿などを見ていたので、gonsのことも身近に思えたのかもしれない。

感動①ある日のこと、家のラジオでかかつた英語の曲を聴いて、六つ違ひの姉が言った。
「これ、あんたの好きなごんぎつねの歌だよ。兵十、って呼びかけてるでしょ」

ほんとうだ！ 歌詞に何度も兵十の名前が出てくる。私は興奮した。

実はその歌は、ビートルズの名曲『ヘイ・ジユード』だった。まだビートルズが解散する前で、よくラジオでかかつっていたのだ。ビートルズなど知るはずのない八歳の私は、gonsが「兵十、……」と呼びかけ、ウナギを逃がしたことを探っている歌だと信じ、ラジオから流れてくるたびに『ごんぎつね』の感動をよみがえらせたのだった。あれがごんぎつねとはまったく関係のない歌だと気づいたのは、いつごろだつたろうか。いまでもどこからか『ヘイ・ジユード』が聞こえてくると、一瞬、栗をかかえたキツネの姿が浮かんできて、思わず苦笑してしまう。

(梯久美子『ごんぎつねと「ヘイ・ジユード』』)

【16】二重傍線部ⒶⒷの漢字の正しい読みを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【17】空欄⑦～⑪に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問19～22】

【18】二重傍線部ⓐ～ⓒの漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

- | | | | | | |
|----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 17 | Ⓐ ①せんて | Ⓑ ②まづて | Ⓒ ③せんしゅ | Ⓓ ④さきしゅ | Ⓔ ⑤さきて |
| 18 | Ⓐ ①かしん | Ⓑ ②かみ | Ⓒ ③けしん | Ⓓ ④ばけみ | Ⓔ ⑤けみ |
| 19 | Ⓐ ①開ける | Ⓑ ②放つ | Ⓒ ③舞う | Ⓓ ④打つ | Ⓔ ⑤演じる |
| 20 | Ⓐ ①それから | Ⓑ ②それきり | Ⓒ ③そのあと | Ⓓ ④そのまま | Ⓔ ⑤そうして |
| 21 | Ⓐ ①捨てた | Ⓑ ②切つた | Ⓒ ③削つた | Ⓓ ④隠した | Ⓔ ⑤引いた |
| 22 | Ⓐ ①おさまらぬ | Ⓑ ②とめられぬ | Ⓒ ③さめやらぬ | Ⓓ ④しずまらぬ | Ⓔ ⑤やめられぬ |

【19】二重傍線部Ⓐ～Ⓑの漢字として正しいものを、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。

【解答欄は問17～22】

- | | | | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 23 | Ⓐ ①慎重 | Ⓑ ②親重 | Ⓒ ③深重 | Ⓓ ④信重 | Ⓔ ⑤審重 |
| 24 | Ⓐ ①否喻 | Ⓑ ②皮喻 | Ⓒ ③非喻 | Ⓓ ④比喩 | Ⓔ ⑤疲喻 |
| 25 | Ⓐ ①異入 | Ⓑ ②依入 | Ⓒ ③囲入 | Ⓓ ④委入 | Ⓔ ⑤移入 |

【19】

空欄 * と ** に該当する語を、それぞれ①～⑤から選び、その番号をマークしなさい。【解答欄は問

26 27】

- ①トレンド
②カラー
③イメージ
④スタンス
⑤ニュアンス

【解答欄は問

26 27】

- 27
*
*
①無意識
②夢心地
③純粹
④自然
⑤子供心

【20】筆者は波線部で、読者に何を伝えたかったのか。筆者の思いを、五十字で述べなさい。

【解答欄は記述解答用紙問

28】

28
記述解答用紙へ